

健康長寿日本一に向けた ふじのくに の挑戦 ～ 民間企業と連携した健康づくり～

平成26年7月11日

静岡県 健康福祉部健康増進課

課長 土屋厚子

静岡県概要

	静岡県
人口	373万5千人
面積	7,255.48km ²
市町村数	35市町
高齢化率	24.9%
要介護認定率	14.5% (低い方から5番目)

※人口、高齢化率は、総務省「人口推計(H24.10.1)」

※面積は、国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調(H24.10.1)」

※要介護認定率は、厚生労働省「平成22年介護保険事業状況報告年報」

静岡県における健康寿命の現状

厚生労働省が初めて算出した健康寿命を、平成24年6月1日に公表

男性		女性	
1位	愛知 71.74	1位	静岡 75.32
2位	静岡 71.68	2位	群馬 75.27
3位	千葉 71.62	3位	愛知 74.93
4位	茨城 71.32	4位	沖縄 74.86
5位	山梨 71.20	5位	栃木 74.86

※「健康寿命」とは

生活の質を重視する考え方に基づき、平成12年にWHO（世界保健機関）が提唱した指標。

今回は、「健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間」と定義。

静岡県の健康づくりの歩み

- 昭和62年 日本一健康県づくり宣言
- 昭和63年 ふじさん運動
 - ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿
- 平成13年 健康創造21アクションプラン
- 平成23年 ふじのくに健康増進計画
総合健康センターの見直し

平成24年 健康寿命 女性1位、男性2位

平成25年 「健康寿命をのぼそう!アワード」厚生労働大臣 最優秀賞

※平成26年～ 第3次ふじのくに健康増進計画

健康長寿プロジェクト(平成24年から)

■ さらなる健康長寿を目指す4本の柱

①健康長寿の研究

県民53万人分の特定健診データの市町別分析や、緑茶の研究などを強化し、市町の健康づくり施策を支援するとともに県民にも情報提供

②企業表彰制度

健康づくりを積極的に取り組む企業を増やすことを目的に優れた企業の取組を表彰すると共に、その事例をパンフレット等で紹介

③健康マイレージ事業

市や町が実施する健康マイレージ事業など先進的な健康づくり事業への支援

④ふじ33プログラムの普及

働き盛り世代(40~64歳)を対象とした個人の健康づくりを支援する環境作りのため運動・食生活の改善・社会参加をメニューに取り入れた本県独自のプログラムの開発と普及

※ マイレージ事業:市民の健康づくりの取組に応じて、ポイントを付与して抽選で景品がもらえたり、店で特典が受けられたりする制度のこと

①健康長寿研究の取組

～静岡県における特定健診データ分析について～

■ 特定健診データの分析

- 平成20年度に、全国に先駆けて、県総合健康センターにて、
市町国保のデータ分析を実施し地図化《全国初》
- 平成22年度は、市町国保のほか、共済組合、健保組合を含めた
35万人を分析

■ 協会けんぽと覚書を締結（平成24年6月18日）

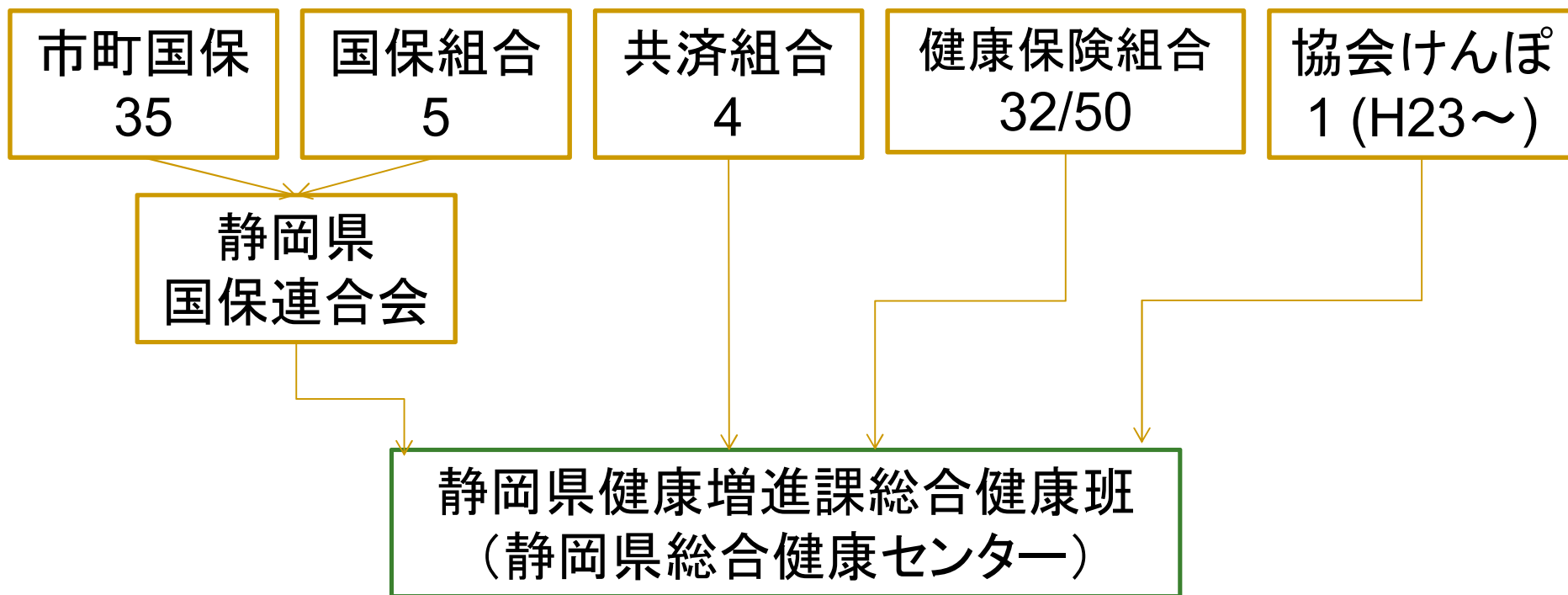
- 13.5万人（働き盛り世代が中心）の特定健診データを収受
⇒ それまでの35万人（市町国保、共済組合、健保組合）
に加え、合計49万人が分析可能
- データ分析、健康づくり対策等について提携



特定健診データ分析の医療保険者内訳 (対象者数:53万人分)

静岡県内の医療保険者

※平成23年度時点

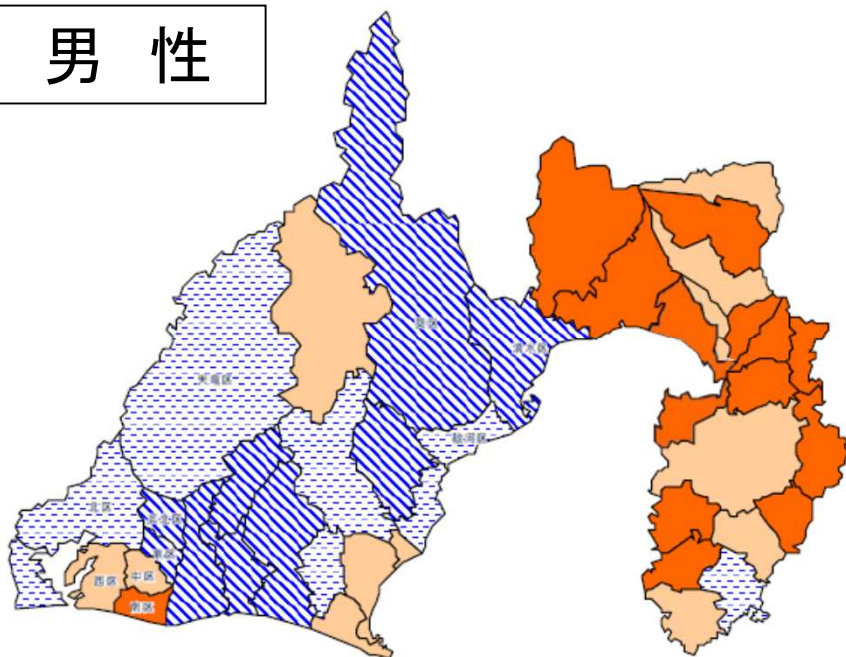


分析・評価・冊子作成
分析結果の公表・施策への反映

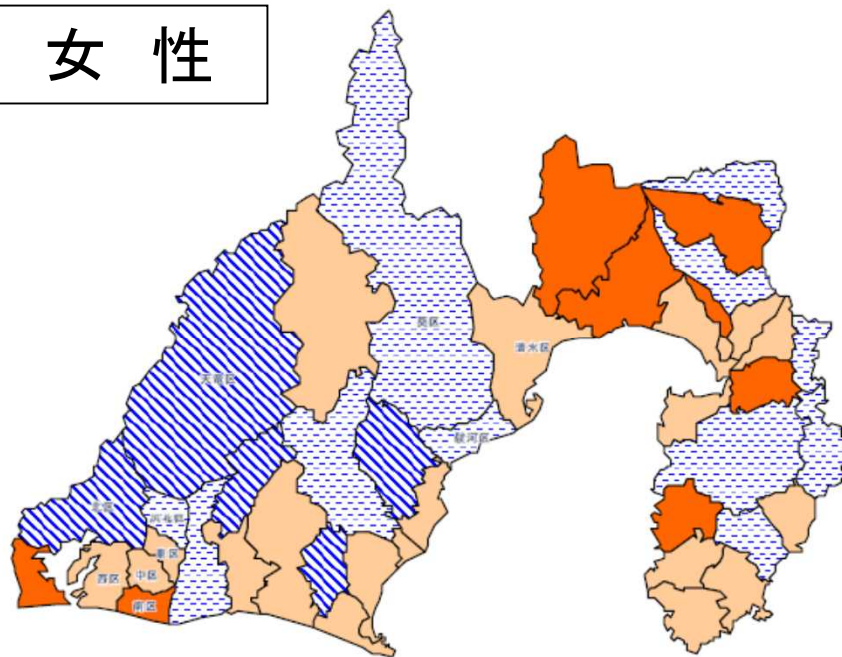
メタボ対象者の見える化

- 県東部の市町において、メタボ該当者が多い
 - 高齢化の影響を除いた比較を実施

男性



女性

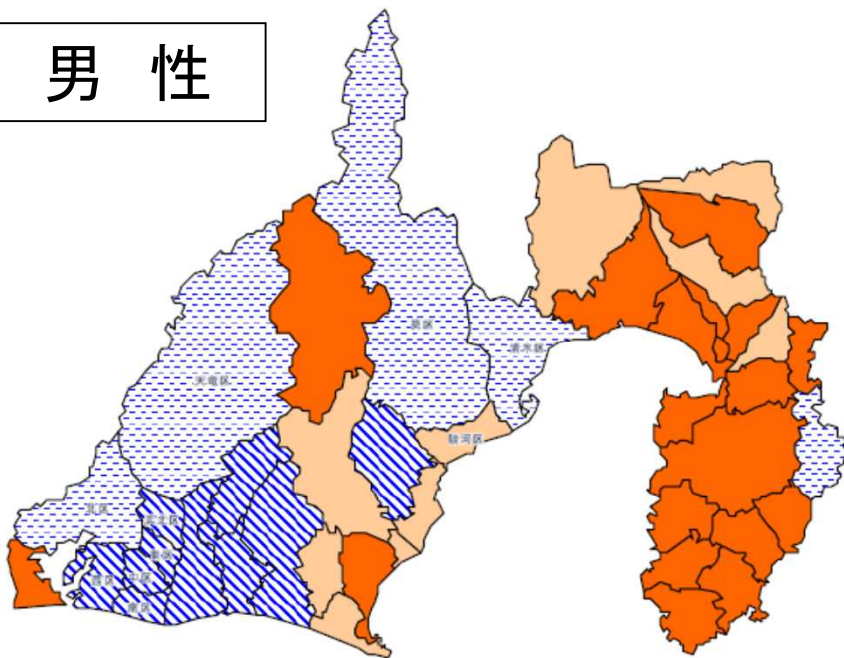


H22年度結果：市町国保、共済組合、健保組合、協会けんぽ提供データ

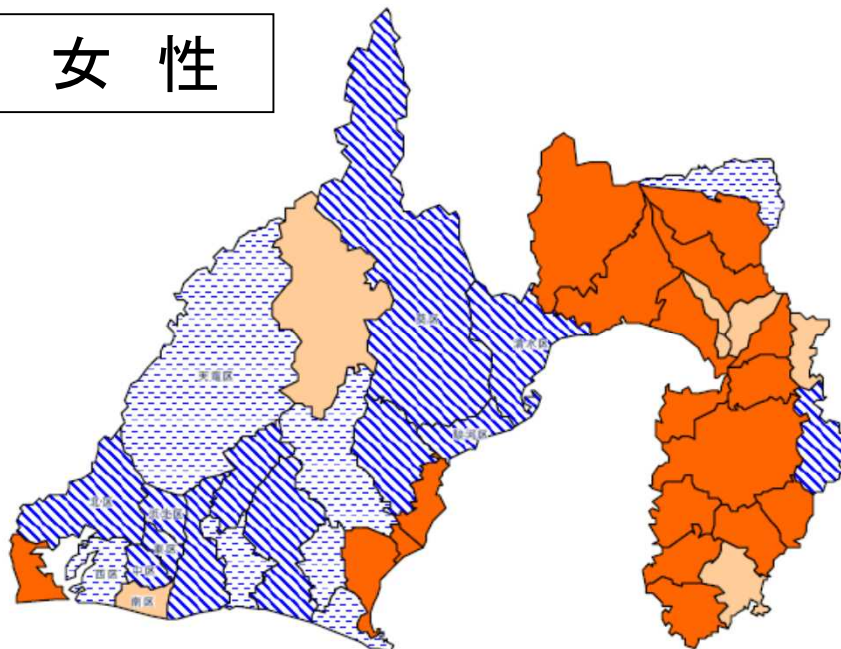
高血圧症有病者の見える化

- 県東部において、高血圧症有病者が多い

男性



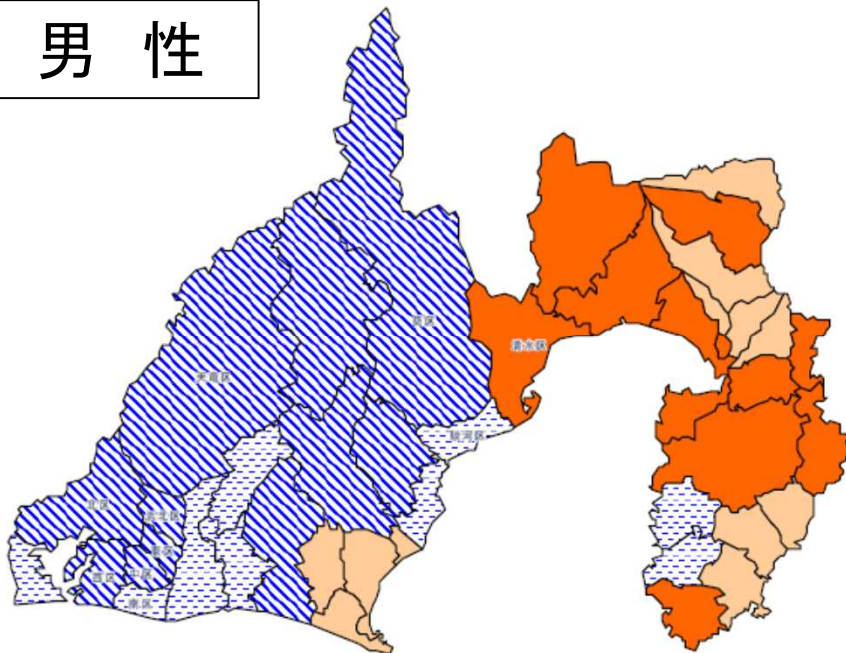
女性



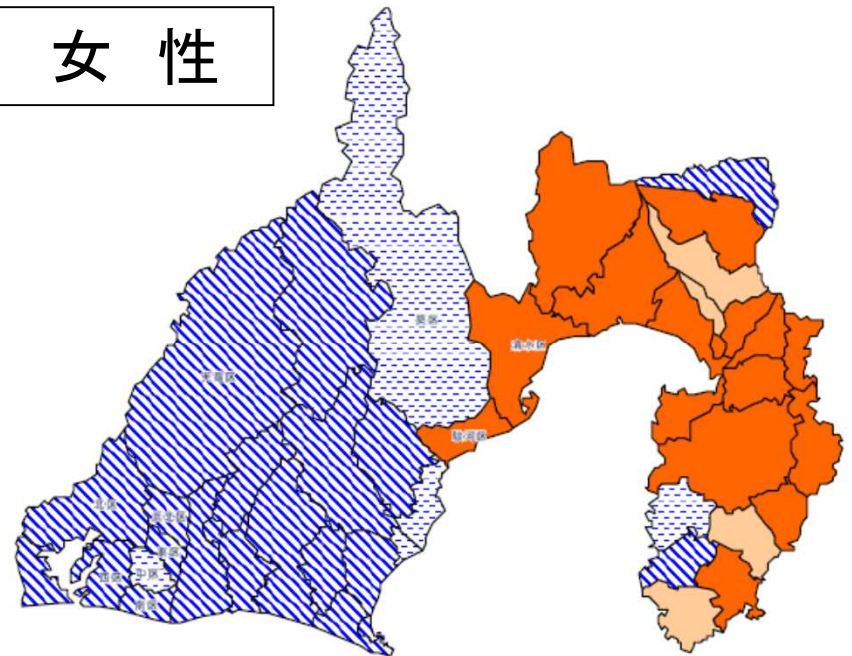
習慣的喫煙者の見える化

- 県東部において、習慣的喫煙者が多い

男性

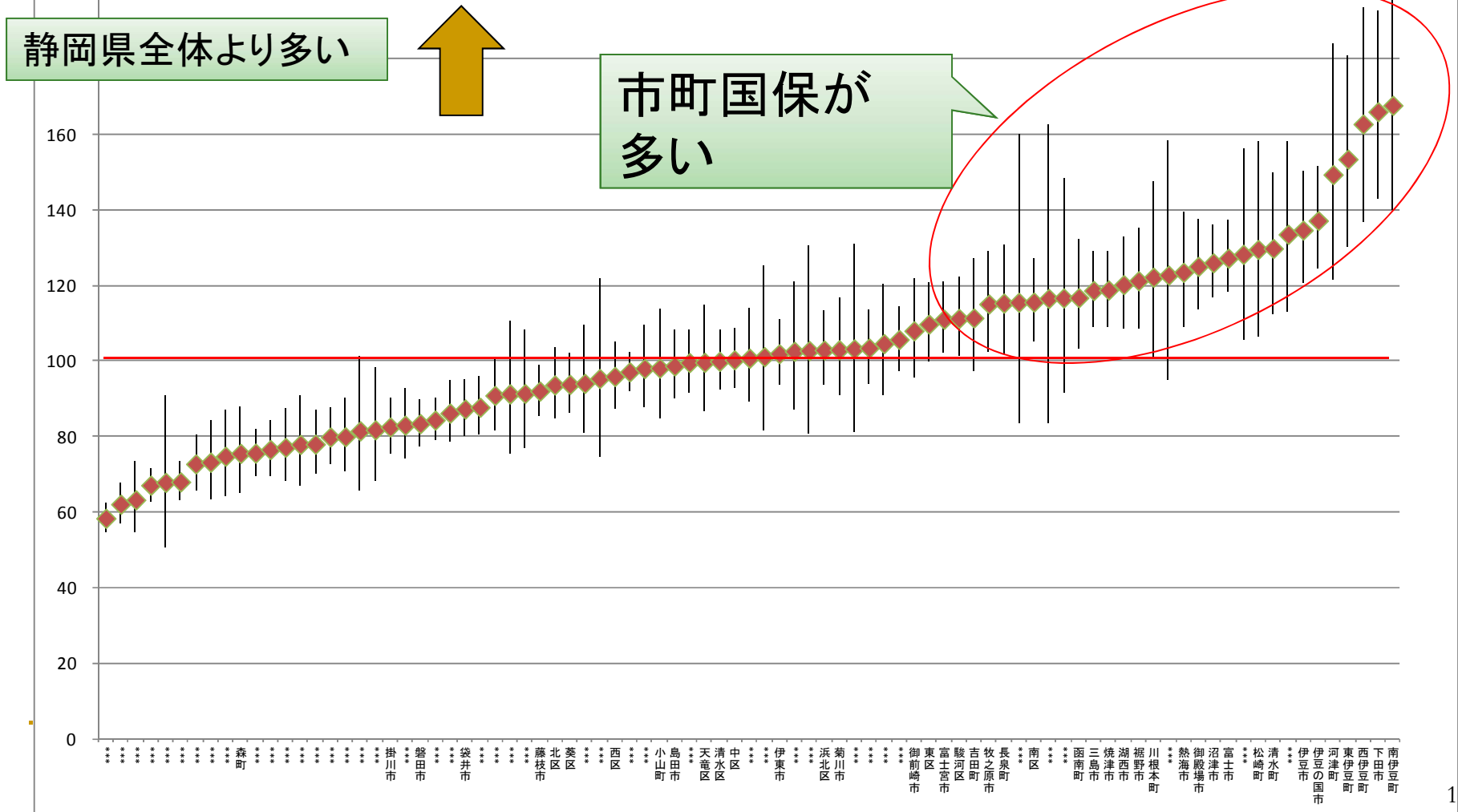


女性



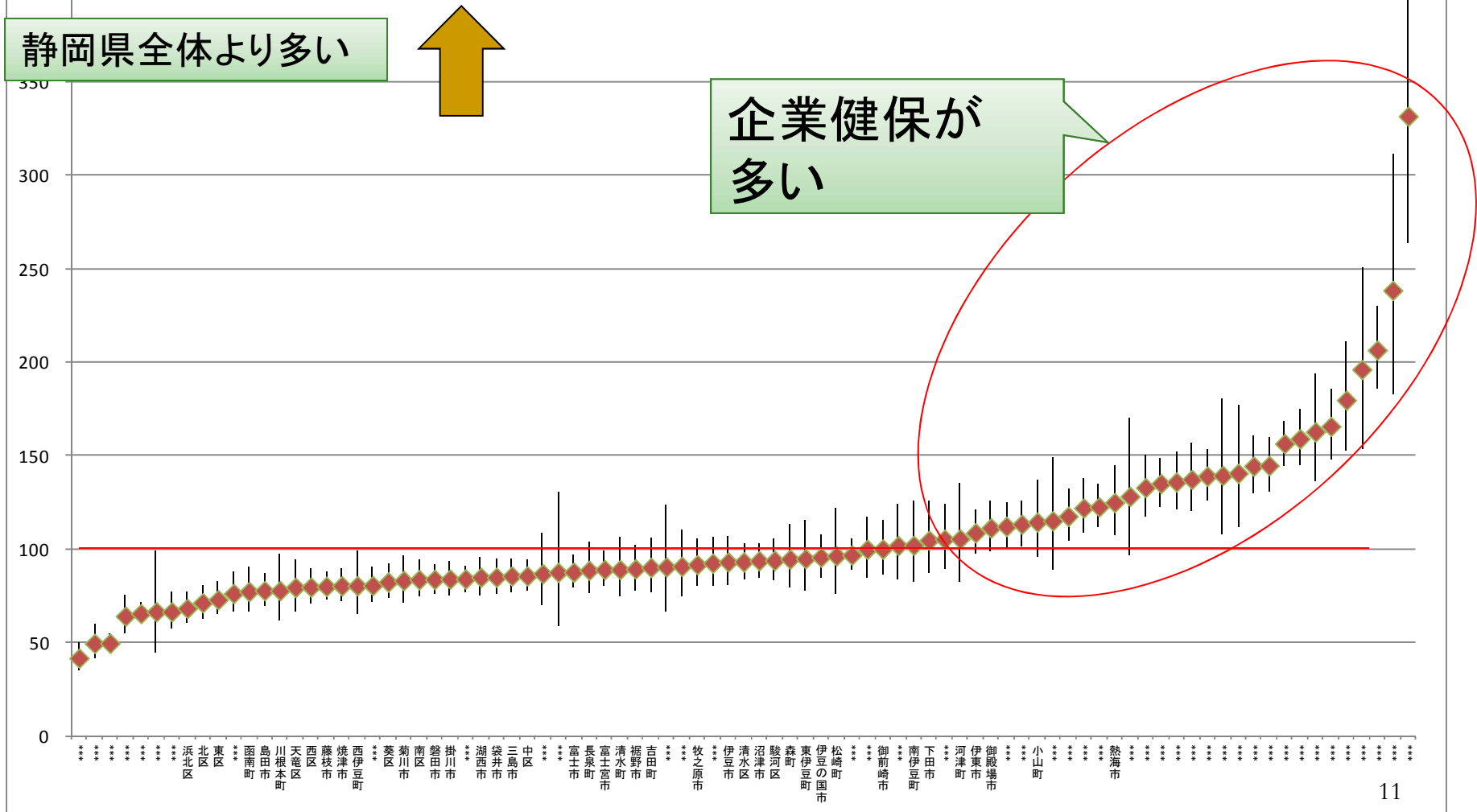
保険者別 高血圧<男性>

平成23年度保険者別「高血圧症」標準化該当オッズ比<男性>



保険者別 喫煙者 < 男性 >

平成23年度保険者別「習慣的喫煙者」標準化該当オッズ比 < 男性 >

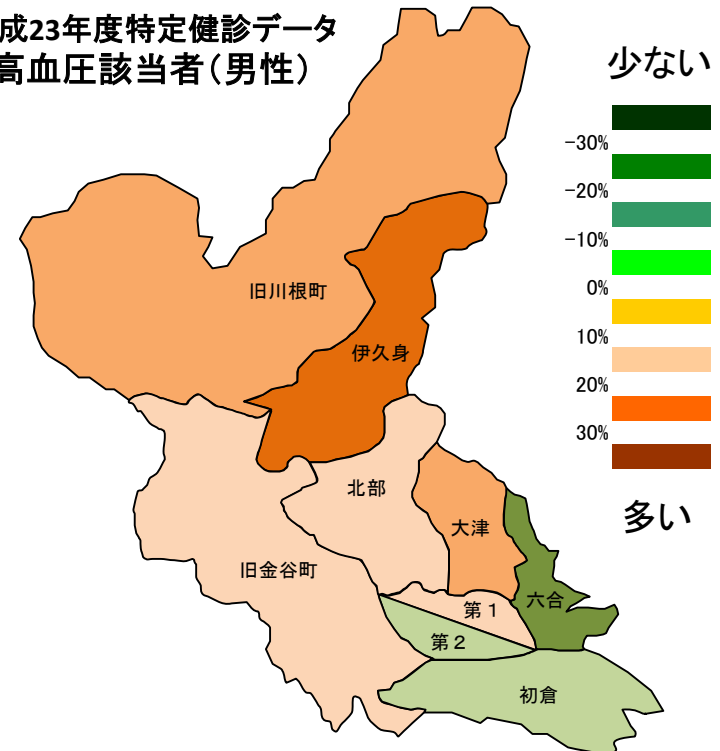


市町の地区別に分析

- ソーシャルキャピタルの醸成に活用
- 健康増進計画の検討資料に使用



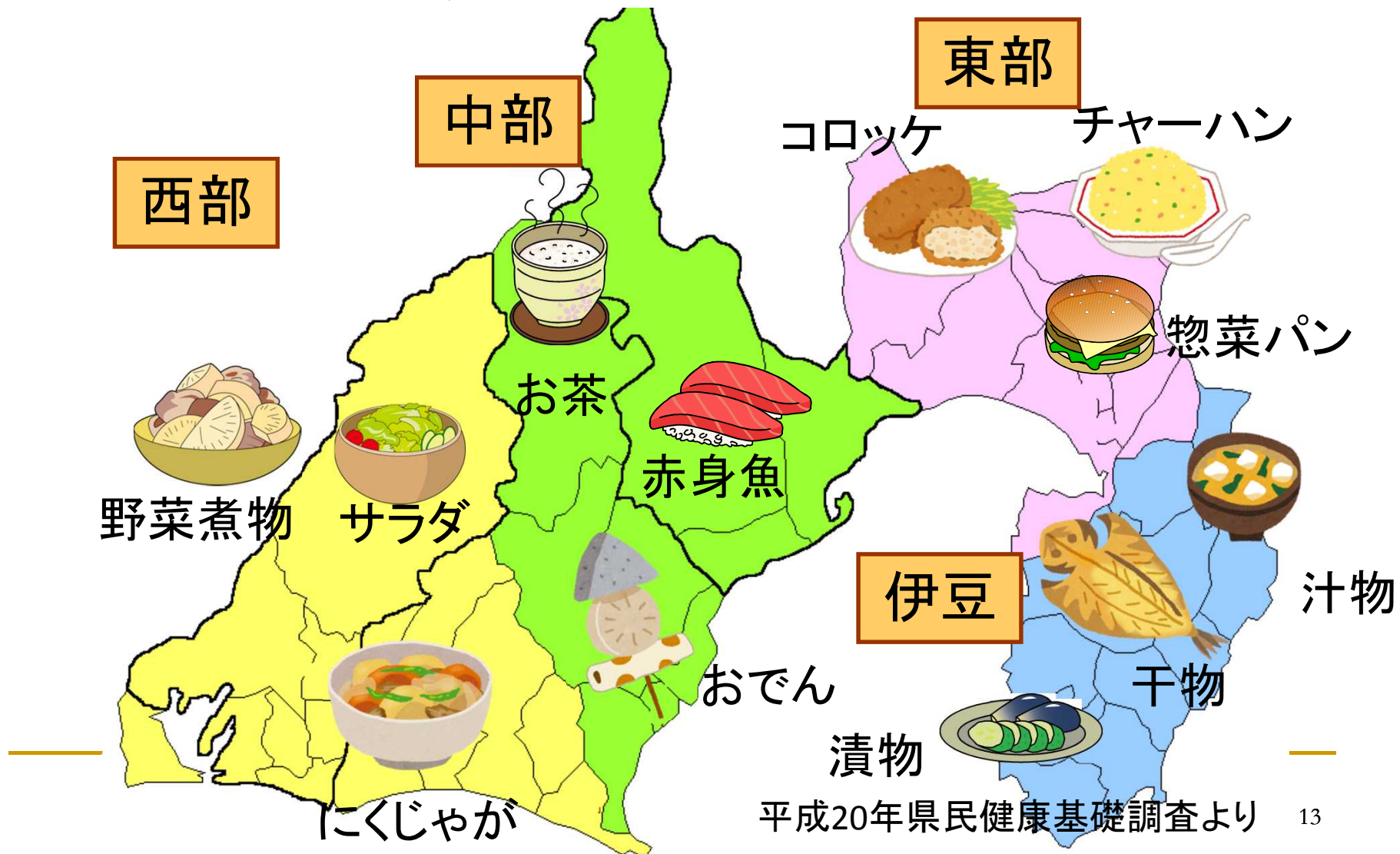
平成23年度特定健診データ
高血圧該当者(男性)



地域別食品摂取頻度

食の地域差

- 地域で異なる食品摂取状況



■ 静岡県における特定健診データ分析の取組ポイント

■ 見える化

地図で表示するなど分かりやすくまとめる。

データをリスト化し、市町村間で比較可能なデータにすることで関係者間の認識を共有させる。

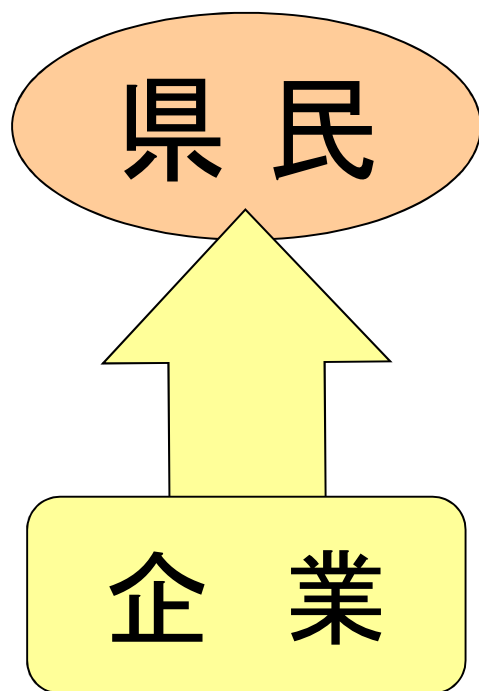
■ 事業の優先度をつける際の基礎資料。

ターゲットが絞られる、評価ができる。

■ 県・保健所、市町村、各保険者、企業・大学等の連携

② 企業・事業所健康づくり表彰制度

- 従業員の健康づくり活動に対し、新たに知事褒賞制度を創設



H25.2.2 第1回表彰式(5社を表彰)



企業への普及を支援

③健康マイレージ事業について

- 健康無関心層のハートをつかむ三つのキーワード

お得！

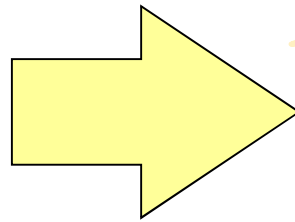
美味しい！

おもしろい！



■ 県と市町が協働して実施

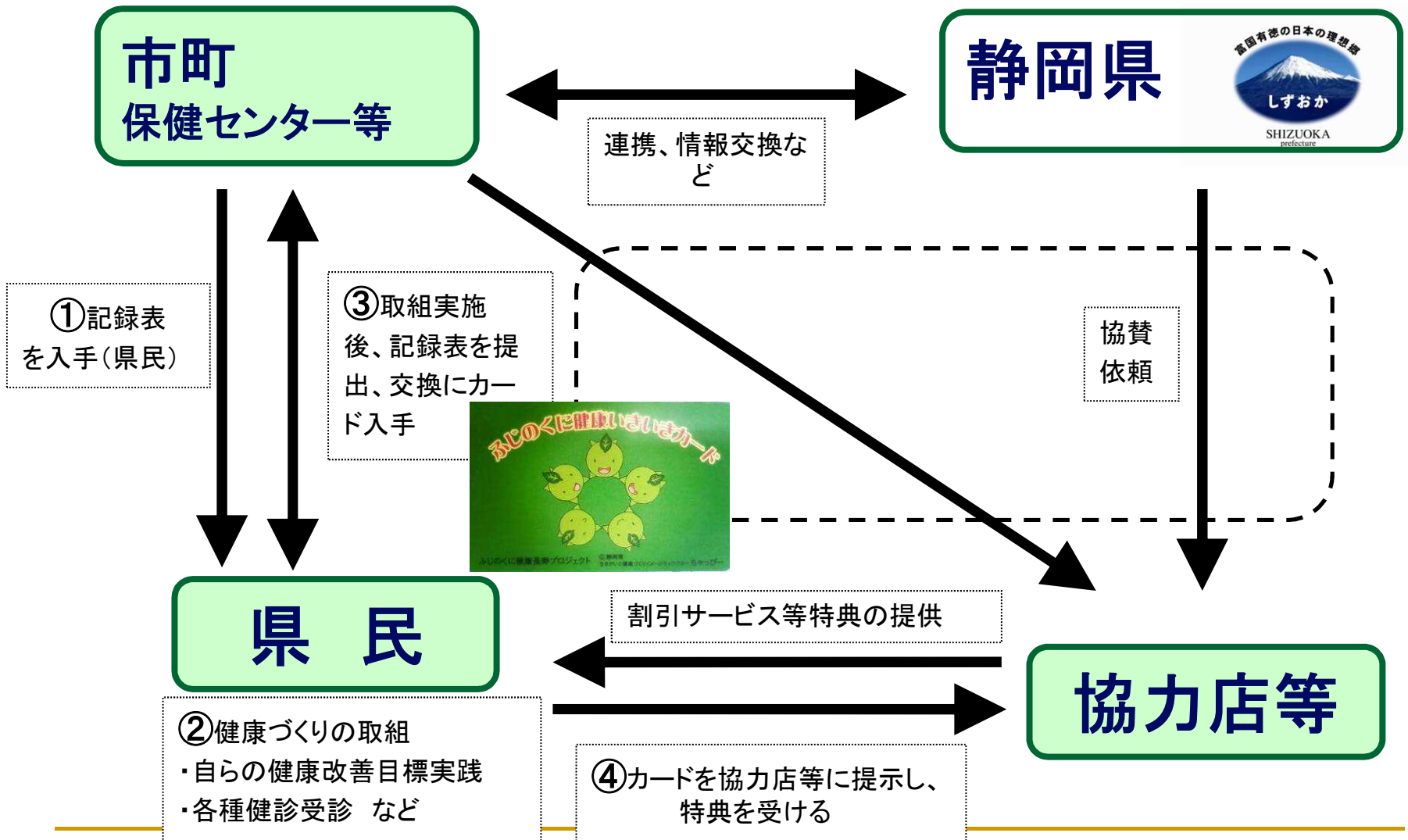
カード提示により、協力店舗で特典あり



約1ヶ月の健康づくりを実施すると 市町からカードが発行される

すし、クーポン券、レシピ本、お菓子、ポイントサービスなどの特典

■ 制度の仕組み



■これまでの成果

- ・健康いきいきカード取得者は**約4,000人**
- ・協力店舗数は**594箇所**
- ・最高額3,150円の骨密度測定を全員が利用すると**1,260万円**のサービス受けたことになります。
- ・25年度は8市町→26年度は**17市町**に拡大
- ・各市町の健康づくり担当課だけでなく、商工・労働・企画・観光部門の参画し**健康づくりを地域づくりに。**
- ・広報経費を換算すると**3,868万円**に相当する。
- ・視察(中国、台湾、アフリカ等の各国、神奈川県ほか7自治体)講演依頼(厚生労働省ほか)→**静岡県の知名度アップ**

④ふじ^{サンサン}33プログラム

「ふ」：普段の生活で

「じ」：実行可能な

「3」：「運動」・「食生活」・「社会参加」の
3つの分野の行動メニューを

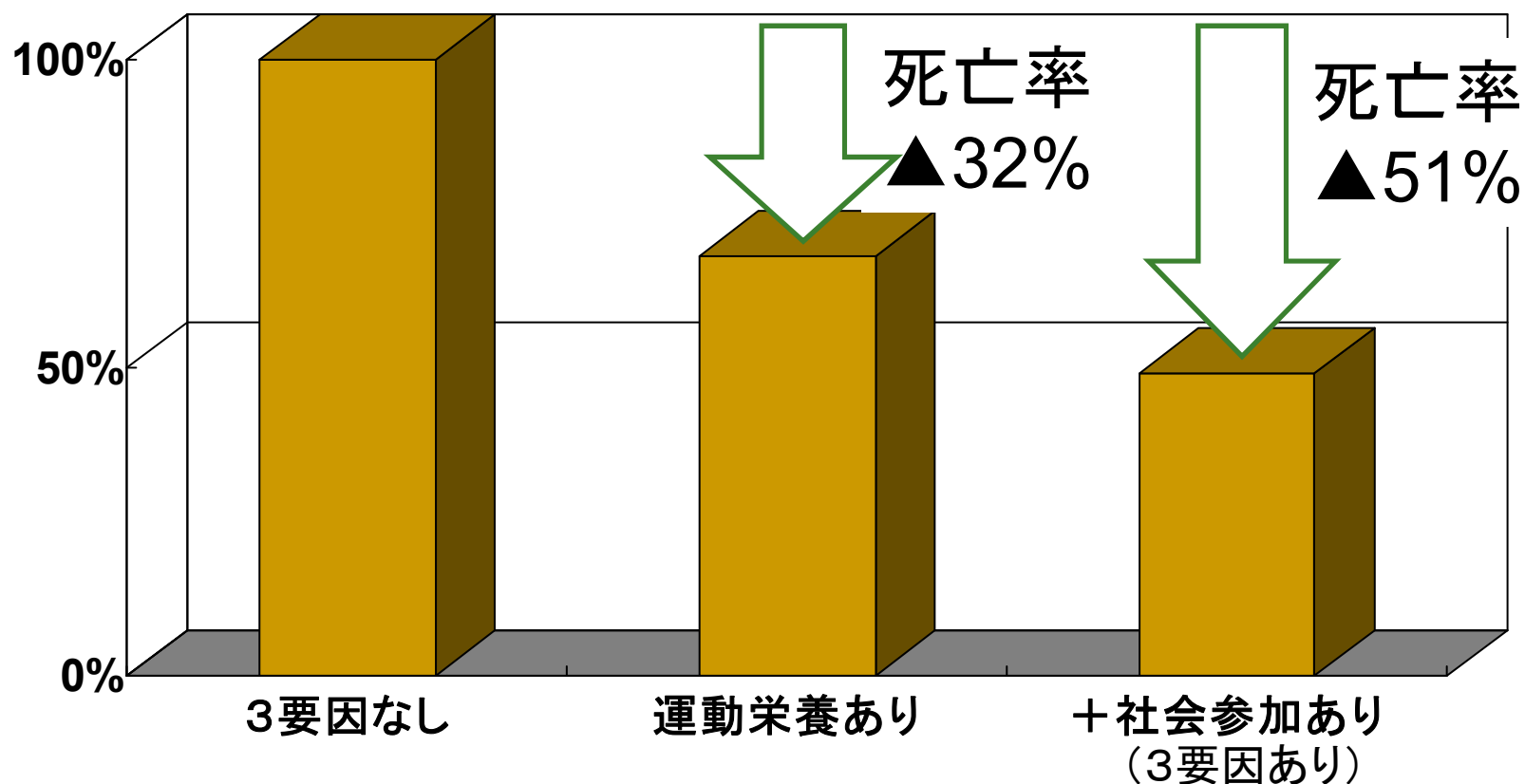
「3」：3人一組で、まずは3か月間実践
することで

望ましい生活習慣の獲得を
目指すプログラムです

静岡県高齢者コホート研究

■ 高齢者14,001人の追跡結果

- 運動・栄養・社会参加について良い習慣がある人は長生き



- 性別、年齢、体格指数、喫煙状況で調整したハザード比
- H24. 7. 21東海公衆衛生学会にて発表

■ 静岡県ふじ33プログラムの展開

■ 平成24年度

→ 静岡県健康増進課・静岡県総合健康センターにより、約100人を対象に試行的に実施

■ 平成25年度以降

→ 県内の16市町、11企業で拡大実施

参加者は、約854人

県と市町と連携して、企業で実施

分析結果を論文としても発表

静岡県の取り組みのまとめ

■ 見える化

- ・わかりやすくまとめることで、関係者間の認識の共有化を図る。
- ・県がマスコミへの情報発信を行い、県民への周知を行う。
- ・戦略的に広報をする。
- ・説明会や、研修プログラムを通じ、データを活用した分析ができる人材を育成。

■ 連携

- ・県・保健所、市町村、各保険者、企業、大学等の連携

■ 県担当者の役割

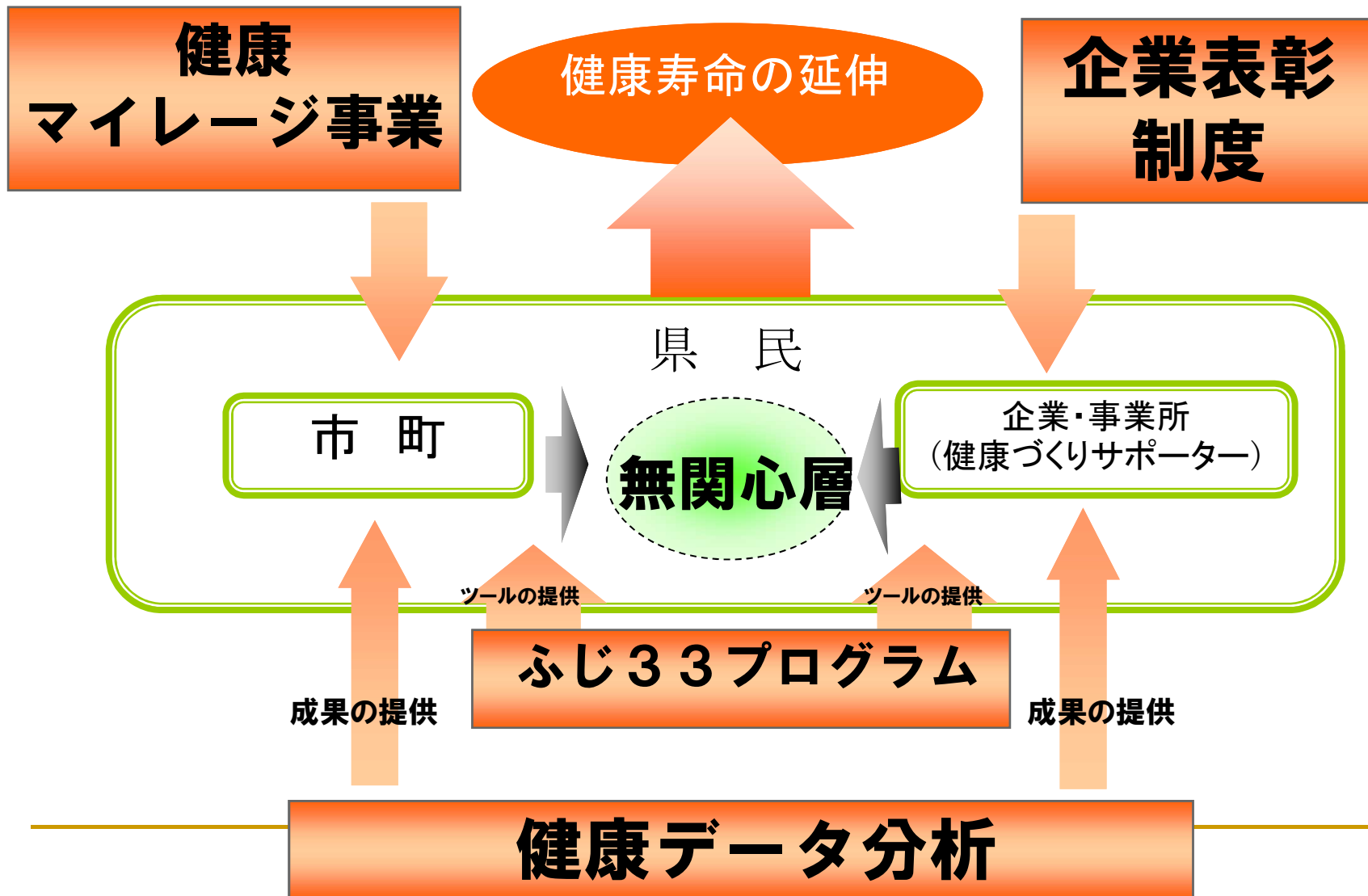
- ・連携を通じて地域の絆を強めていく。

そのために、県担当者が精力的に種々の人に会いに行く 23

静岡県 の更なる 挑戦



健康長寿プロジェクトの推進



健康寿命のさらなる延伸を目指して

- 一体となって進める健康づくり
 - 市町や企業、保険者が一体となり、住民の健康づくりを支援する仕組みづくりを推進
- すべての人に健康を
 - 子どもから高齢者まで、ライフステージに応じた健康づくりを推進

- 運動、食生活、社会参加を取り込んだ「ふじ33プログラム」の普及などにより、
引き続き、健康長寿日本一を！

